

看護専門科目	基礎看護学					
看護学科	必修	2単位	講義	平成30年度	前期	1回生
科目名	看護学概論					
担当教員	塚原節子					
目的	看護学の歴史の変遷を踏まえ、看護の主要概念と健康問題が人間に与える影響を理解し、看護を実践するための基本知識を養う					
目標	1. 看護学の歴史の変遷から現代看護の位置づけを説明できる。 2. 看護と健康・環境・人間の概念と看護の目的・役割を説明できる。 3. ヘンダーソンの看護理論を中心に、主な看護理論の重要概念を説明できる。 4. 看護実践を構成する要素と実践する過程を説明できる。 5. 人間を対象とする看護実践に欠くことのできない看護倫理の基本的な考え方を説明できる。 6. 看護専門職の概念を把握し、生涯学び続ける責任と制度を説明できる。					
他科目との関連	医療実践基礎実習 看護基盤実習 コミュニケーション論 医療概論 医療の歴史と現在 医療安全学 関係法規 保健医療福祉行政論 社会福祉原論 看護の基礎となる技術演習 日常生活を支える看護演習 生きることを支える看護演習 ヘルスケア論 ヘルスケア論演習 療養生活を支える看護実習					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	定期試験				0.8
	レポート	課題レポート				0.2
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	① 志自岐康子他「基礎看護学 ① 看護学概論」ナースングラフィカ、メディカ出版 ② 城ヶ端初子「誰でもわかる看護理論」(株)サイオ出版 ③ ヴァージニア・ヘンダーソン「看護の基本となるもの」日本看護協会出版会 ④ フロレンス・ナイチンゲール「看護覚え書き」現代社					
参考資料	① ヴァージニア・ヘンダーソン「看護論」日本看護協会出版会 ② アン・マリナー・トメイ, マーサ・レイラ・アグリッド「看護理論家とその業績」第3版 医学書院 ③ 看護法領覧 日本看護協会出版会					
備考 (受講上注意、 事前学習等)	関連科目の授業内容・テキスト・資料を活用して学習を進める。 指定教科書および配布資料を熟読して授業に臨む。 板書指示はしない。各自が必要事項を記載して学習を積み重ねる。 授業時に指示する課題は成績評価に反映するものであり、締切日時を厳守する。					